

しみん基金・KOBENews

2023年12月 Vol.61



認定NPO法人しみん基金・KOBENews

発行日2023年12月

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通4丁目1-23-605

[TEL]078-230-9774 [FAX]078-230-9786 [MAIL]kikin@stylebuilt.co.jp [HP]stylebuilt.co.jp/kikin



2023年12月号

白鶴酒造株式会社
2023年秋酒蔵開放

野崎 隆一

しみん基金・こうべ常務理事
特定非営利活動法人
神戸まちづくり研究所 理事長

10月14日土曜日、東灘区住吉南町にある本社工場内で毎年開催される「蔵開きイベント」において好評の試飲コーナー売上から当基金にご寄付をいただきました。

白鶴酒造さんは、CSRに熱心な企業で、他団体主催のCSR関連の講座に協力した折、参加されていた白鶴酒造の西田さんに出会い、後日当基金からお願いに上がったのがきっかけでした。2019年に実現したものの、その後のコロナ禍で中断し、今年が久しぶりの開催となりました。

私が20年以上関わっている地元のまちづくり協議会にも、10年以上前から声掛けいただき、イベントブースを4〜5コマ任されてその売上利益を頂いています。防災の面でも、津波到来時の緊急避難先として5階建て工場の3階への避難協定を結んでもいます。

企業と地域団体、NPOが連携して、社会課題の解決に向けて協力しあえる良いモデルになればと思います。



2023年度助成事業公開審査会



今年度は予算の都合上特定枠の総額を減らざるを得ない苦しい状況ではありますが、なんとか10月30日(月)13時から17時、こへまちづくり会館で公開審査会を実施しました。5月にコロナが5類となり申請数もようやくコロナ前に近づき、35団体の申請があり、書類審査・ヒアリングを経て15団体にプレゼンテーションをしていただきました。

一般枠の1回目の投票では上位4団体が決定するも5位が同点となり、決選投票を行いました。またもや同点となったため、その場で審査員の話し合いが持たれました。審査員長判断により、各々の団体の希望金額の割合で助成残金を分けることになったため、一般枠6団体、特定枠1団体の7団体に助成が決定しました。

今年度は惜しくも書類審査不通過だった団体も含め、新たな社会課題に取り組んでいる団体が複数申請されていました。世界情勢や社会の状況は審査員長が最後におっしゃったように「国内外に憂いが多いが皆さんの活動に救われる」状況であり、日々活動する団体をできる限り支援していければと思います。



award winners 助成決定団体

01	(特活)全国夜間中学ネット	学習支援塾 みんなラボ 長田・甲南
02	(特活)ミャンマー-KOBE	急増するミャンマー人への支援強化と、自らの課題解決 活動の支援
03	任意団体「たらぶ」準備会	孤独・孤立対策支援活動事業 一ひきこもり(特に8050問題、就職氷河期世代など喫緊の課題に対処するため)に特化したプラットフォームを基盤とした伴走型支援活動一
04	面会交流支援センターピロティ	子どもの利益となる面会交流等の支援事業
05	多文化共生センターひょうご	多文化・多世代の顔がみえるまちづくり
06	「まちの本屋」上映実行委員会	ドキュメンタリー映画「まちの本屋」上映会等の実施

「一般」

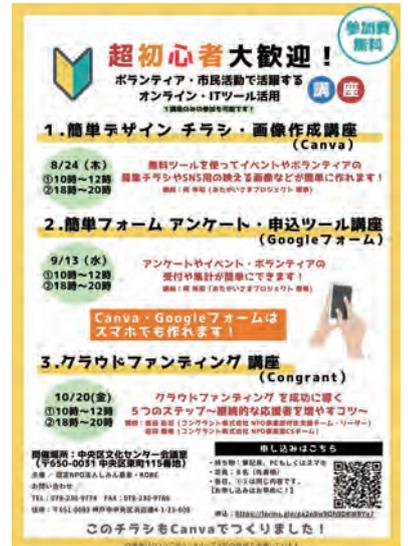
T1	あすパ・ユース震災語り部隊	灘区成徳地区における、若者による震災の伝承活動
----	---------------	-------------------------

「特定」

インターン報告 | オンラインIT活用講座を行いました。

9月13日に簡単フォーム、アンケート・申し込みツール講座に参加しました。講座は10時から12時と、18時から20時の2回行われていて、私は夕方からの講座に参加しました。講師には、おたがいさまプロジェクト理事である岡秀和さんをお招きしております。講座への参加動機は様々でしたが、皆さん自身の活動に活かすために参加されたようでした。

こちらの講座で教えて頂いたのは、GoogleフォームというGoogleのサービスの1つとして提供されているフォーム作成ツールの使い方です。Googleフォームはその使いやすさや無料で使える点もさることながら、アンケートフォームや問い合わせフォーム、キャンペーンへの申し込みフォームなど、様々な用途で利用されています。実際、私自身が授業やサークル活動など、身近によく回答するアンケートもGoogleフォームで作成されたものが多い印象を受けます。



講師の岡 秀和さん(おたがいさまプロジェクト 理事)

講座では、Googleフォームの利点や特徴から、細かな使い方まで教えて頂きました。Googleフォームの基本的な使い方をマスターした後は、実際にアンケートや申し込みフォームを作ってみました。実践する中で、ところどころ苦戦するところもありましたが、講師の岡さんが、その都度丁寧に教えてくださるので、参加していた方々は皆、楽しみながら学ぶことが出来ているようでした。

オンラインやIT系のツールは非常に便利ですが、誰もが簡単に使い始めることができるものである。という認識は未だ低いように感じられます。このボランティア・市民活動で活用するオンライン・ITツール講座で学ぶことで認識が代わり活動の効率化に役立つことを願っています。

(関西学院大学1回生 畑 杏奈)

ご寄付いただきました。
兵庫県遊技業協同組合様



第7回黒田裕子賞

全国災害ボランティア支援機構



全国災害ボランティア支援機構
代表理事の高橋 守雄 さん(左)

全国災害ボランティア支援機構は、発足時から、ボランティアが活動するための、被災地までの交通費および宿泊費の割引を、国の支援で実現するべく要望書を提出し続けられ、また代表の高橋さんは、阪神・淡路大震災20年の「追悼の日」に、神戸市営地下鉄の始発を早めるために、故黒田前理事長と協力し神戸市に掛け合い実現するなど、長年黒田さんと活動を共にしてこられました。災害が頻発化しているにも関わらずボランティアは不足しています。阪神・淡路大震災から30年に向け、支援の輪を大きくしていただけるよう期待します。

28年目のひとり言

「ヴェッセル神戸」

「ヴェッセル神戸」が初のサッカー・Jリーグ年間王者に輝いた。川崎製鉄水島サッカー部が母体となり、神戸を本拠地としてJクラブとして産声を上げたのが1994年、阪神・淡路大震災の前年である。2度のJ2降格にもめげず、29年目にして初めての戴冠に、選手やサポーターの喜びも一入かと思う。

以前、市民活動団体の活動資金を捻出する「夜会・ぼたんの会」の運営をヴェッセル神戸にサポートして頂いた時期があり、私たちにとっても感慨深いものがある。

「しみん基金・こうべ」も来年(2024年)設立から25年を迎える。草の根の市民活動を支援するという設立当初からの趣旨に賛同下さり支援頂いている全ての方々に改めて感謝申し上げますと共に、私たちの努力不足により、思う様に寄付が集まらず、十分な助成金拠出が出来ていないことをお詫びしたい。

先だって行われた公開審査会の際に、本年度の「黒田裕子賞」を受賞された、「全国災害ボランティア支援機構」に、戎理事長より表彰状と目録を手渡した。故黒田裕子前理事長の意志を引き継ぎ、活動を継続している団体・個人を表彰する為に設けられた賞であるが、「被災者を誰一人取り残さない」という強い意志のもと、寝食を忘れ、身を削ってでも震災後の市民活動に東奔西走されておられた姿が改めて思い出され、これからも、草の根の市民活動をしつかりと支えて行く努力を惜しまない意を強くした次第である。

しみん基金・こうべ 専務理事

瀬戸口 仁三郎

※当基金へのご寄付と賛助会費は税制優遇の対象です

「しみん基金・こうべ」の運営を支えて下さる 賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3千円 / 団体会員 年間 1万円

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで、ご連絡いただくか、HPをご参照ください。

郵便振替 00990 - 5 - 157334
口座名義 「しみん基金・こうべ」

三井住友銀行三宮支店 普通 8840183
近畿労働金庫神戸支店 普通 4161854
みなと銀行本店営業部 普通 1969895
口座名義 「特定非営利活動法人しみん基金・こうべ」

編集後記

今年も大変お世話になりました。皆様とご一緒させていただき、改めて未来に向けて共に歩む大切さを感じております。来る年が皆様にとって素晴らしいものとなりますよう、心よりお祈りしています。

良いお年をお迎えください。(お)

※ご寄付、会費納入は、クレジット決済もご利用頂けますのでご活用ください。
当基金ホームページの「クレジットサポーター」からアクセスできます！

※皆様方からの貴重なご厚志に深謝申し上げます。
(2023年7月～2023年11月)

寄付者・募金一覽(敬称略・順不同)
飛田雄一、中島秀男、岸桂子、岡野亜紀子、中谷豊、山口一史、山田剛司、齋本郁、津久井進、宗教法人真如苑、(有)神戸国際マーケット、ヤフービジネスサービス、兵遊協福祉基金、白鶴酒造(株)、公開審査会募金箱

寄付・募金合計金額 79万2千8百5円

正会員 個人27名 3団体
賛助会員 個人43名 7団体

会員数とご寄付のご報告(2023年11月末)